

# 放牧宣言つて?!

近藤 朗

新年

明けまして

おめでと〜ございます

旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

今年も西年。過去の西年には大きな改革が行われてきたそうです。今年も大きな変革期になるのではないかと期待と不安で心が躍ります。

新潟小学校においても、これまでの取組をさらに一歩前へ進めるとともに、子どもたちの発想力や行動力を一層高め、すすくと成長し続けることができるよう、職員一同努めてまいりたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。

年の暮れと新年。たった一日の違いで大きな違いを生み出す節目。強い反省をさせられる大晦日、そして新たな夢と希望に満ち溢れる新年。

昨年は三十日に、今年は七日に白山神社にお参りに行きました。昨年中の様々な成果へのお礼、そして今年の妄想へのお願い。皆さんはどうされましたか。

そんな中、いきものがかりの放牧宣言というフレーズが私の心に突き刺さりました。

解散ではなく、休止でもない。放牧という表現が用いられています。解き放たれる勢いを感じます。そして、単なる次のゴールへ向かう道ではなく、パワーアップして戻って来る道が見えます。

おそらく、その道は、「頑張ってきた」⇨「自由に取組を発想する」⇨「行動する」⇨「感じる」⇨「戻って来る」⇨「楽しい未来」という道ではないでしょうか。

このサイクルはどこかで目にしたと思いませんか。そうです。新潟小学校の教育ビジョンに描かれているたんぽぽの綿毛が舞う動きです。新潟小学校の子どもたちにも、学習したことをもとに発想を豊かにし、実際にやってみて、感じて、楽しい未来を創っていく道を歩んでもらいたいと考えたビジョンです。

新しい年のスタートです。子どもたちは一人一人それぞれの夢と目標に向かって歩みはじめました。今年もしっかり根を張り、未来に向かうエネルギーを高めてもらいたいものです。